



(こども版) としょかんだより No.270

2006年

9月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「スーザンのかくれんぼ」 (えほん) ルイス・スロボドキン / 作 偕成社



スーザンは、いじわるなにいさんから、かくれるところをさがしています。いろいろな人が、いいばしょをおしえてくれますが、すぐに見つかってしまいます。でも、さいごにスーザンは、すぐくすてきなところを見つけました。

そこはいったいどこでしょう？

「あわれなマノリート」 エルビラ・リンド / 作 小学館

スペインに住んでいるマノリートは、大きなめがねをかけたおしゃべりな男の子です。彼のまわりでは、サッカー事件に



あまい薬事件、ないしょの手紙事件などいろいろなことがおきます。元気なクラスメイトやにぎやかな家族にかこまれて、毎日大さわぎ！

「天気の不思議」 (ちしきの本) 森田 正光 / 作 誠文堂出版社



夏と秋とでは、雲の形や空の色がちがっていることに気づきませんか。季節が少しずつ変化しているのです。

夏日と真夏日のちがいや、台風のなぞ、雨と雪の境目など天気に関する不思議が紹介してあります。



# あたらしくはいった本



えほん



「あっちゃんのはたけ」 大西 ひろみ / 作 ひさかたチャイルド

あっちゃんはやさいがだいきらいです。「どうすればやさいがすきになるかしら？」かんがえたおばあちゃんは、あっちゃんとはたけに行くことにしました。

でも、あっちゃんは、おてつだいなんかしません！

ものがたり

「れいぞうこのなつやすみ」 村上 しいこ / 作 PHP 研究所



おとうちゃんのビールがひえていない！  
おおあわてのぼくたちかぞくに、れいぞうこがでっかい口で、はなしかけてきました。

「わたしもなつやすみをもらって、プールへ行ってみたい」  
れいぞうこが“れいぞう子”という名前の女の子と知って、ぼくはお母さんのみずぎをかしてあげました。



## わたしはだれでしょう？

おはなしの<sup>しゅじんこう</sup>主人公あてクイズ

わたしは髪を今よりもっと長くのばすつもりでいます  
はしの上からおさげをたらして、さかながつれる  
くらいにするの。

のりまきみたいにくるまればふかふかふとん  
になるのよ。

さて、わたしのなまえ、わかるかしら？



(こたえは、さいごのページにのってます)

## ものがたり

「おばけの人生相談 いらないほしいの巻」

沼野 正子 / 作 草土文化

おばけたちの悩みに答える「なやみイロイロ相談所」。  
そこへ、地球にやさしいおばけの「火消婆」が相談にやって来ました。  
今回もおそろしいおばけたちの悩みに、リラ、クスコ姉妹と黒ねこが  
相談員として答えています。



「アキンボとアフリカゾウ」

アレグザンダー・マコール・スミス / 作

文研出版



アフリカにくらす少年アキンボは、サバンナにいるゾウたちをながめるのが大好き。ある日、密猟者に殺された母ゾウと、残された赤ちゃんゾウを見て、強いいかりがこみあげてきました。密猟をやめさせるにはどうしたらいいのだろう…。アキンボは思い切った行動に出ます。

「美輪神様の秘密」

横山 充男 / 作 文研出版

種友は、冒険物語や推理小説が大好きな小学5年生。美輪山のふもとの郷田村に家族4人で引っ越してきました。

ある日、種友と仲間たちは、倉庫で謎の地図を見つけます。

宝の隠し場所を調べていくうちに、昔、神様と人間が交わした約束があることを知りました。



## ちしきの本

「塩の絵本（つくってあそぼう12）」

たかなし ひろき / 作 農文協

むかしから「生命の糧」といわれている塩。塩がなくては、人間も動物も生きていけません。

塩の歴史や体内での働き、海水からの取り出し方、食材の保存以外の工業的な使い道などを紹介しています。



名作をよもう！  
今月の1さつ



「<sup>ぎんがてつどう</sup>銀河鉄道の夜」 宮沢 賢治 / 作 岩波書店

ジョバンニとカムパネルラは銀河鉄道に乗り、天の川に沿って旅をつづけます。南十字星で乗客たちは降りていき、やがてふたりは、そらのあなに着きました。

地上にひとりもどったジョバンニは、カムパネルラが友達を助けようと川に入り行方不明になったことを知らされます。



人の幸せを願うあたたかな心をえがいた作品です。

本ととしょかん まめちしき

その4 < <sup>ぞうしょてんけん</sup>蔵書点検ってなあに？ >

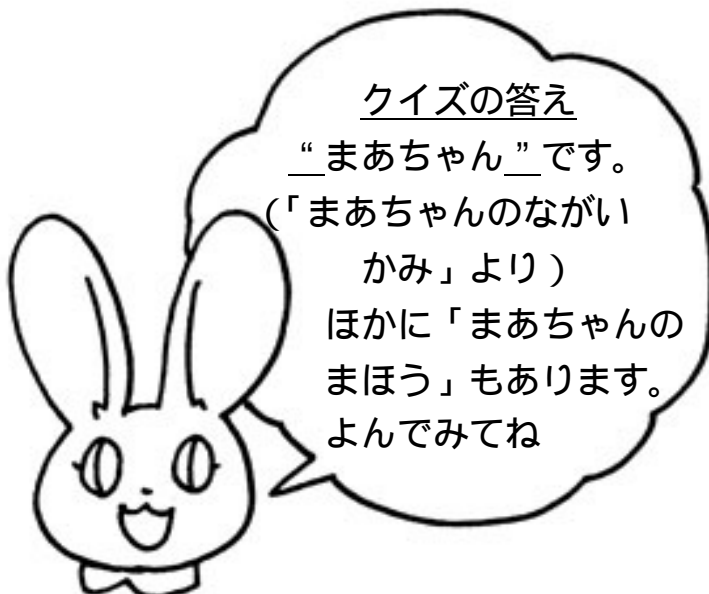


図書館にある全部の本とデータを照らし合わせて、<sup>じっさい</sup>実際にその本があるかどうかを<sup>かくにん</sup>確認していく<sup>さぎょう</sup>作業の事です。

決められた棚に本がおいてあるか、一冊一冊ていねいに調べます。

また、よごれたりこわれている本がないか点検します。

蔵書点検中は、図書館はお休みです。



クイズの答え

“まあちゃん”です。

(「まあちゃんのながいかみ」より)

ほかに「まあちゃんのみほう」もあります。  
よんでみてね



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-72